

病害動物学分野

論文

A 欧文

A-a

- 1 . Kawada H, Futami K, Higa Y, Rai G, Suzuki T& Rai SK: Distribution and pyrethroid resistance status of Aedes aegypti and Aedes albopictus populations and possible phylogenetic reasons for the recent invasion of Aedes aegypti in Nepal. Parasites Vectors 13: 213, 2020 doi: 10.1186/s13071-020-04090-6. (IF: 3.031)
- 2 . Tamari N, Minakawa N, Sonye GO, Awuor B, Kongere JO, Hashimoto M, Kataoka M, Munga S: Protective effects of Olyset® Net on Plasmodium falciparum infection after three years of distribution in western Kenya. Malar J 19: 373, 2020 doi: 10.1186/s12936-020-03444-w. (IF: 2.631)
- 3 . Minakawa N, Kongere JO, Sonye GO, Lutiali PA, Awuor B, Kawada H, Isozumi R & Futami K: A preliminary study on designing a cluster randomized control trial of two new mosquito nets to prevent malaria parasite infection. Trop Med Health 48: 98, 2020 doi: 10.1186/s41182-020-00276-x. (IF: 1.65)
- 4 . Sultana A, Sunahara T, Tsurukawa C, Tuno N: Reproductive interference between Aedes albopictus and Aedes flavopictus at a place of their origin. Med Vet Entomol : 2020 doi: 10.1111/mve.12469. (IF: 2.178)
- 5 . Hashimoto M, Yokota K, Kajimoto K, Matsumoto M, Tatsumi A, Nakajima Y, Mita T, Minakawa N, Oka H, Kataoka M: Highly Sensitive and Rapid Quantitative Detection of Plasmodium falciparum Using an Image Cytometer. Microorganisms 8(11): 1769, 2020 doi: 10.3390/microorganisms8111769. (IF: 4.152)
- 6 . Hashimoto M, Yokota K, Kajimoto K, Matsumoto M, Tatsumi A, Yamamoto K, Hyodo T, Matsushita K, Minakawa N, Mita T, Oka H, Kataoka M: Quantitative Detection of Plasmodium falciparum Using, LUNA-FL, A Fluorescent Cell Counter. Microorganisms 8(9): 1356, 2020 doi: 10.3390/microorganisms8091356. (IF: 4.152)
- 7 . Faizah AN, Kobayashi D, Isawa H, Amoa-Bosompem M, Murota K, Higa Y, Futami K, Shimada S, Kim KS, Itokawa K, Watanabe M, Tsuda Y, Minakawa N, Miura K, Hirayama K, Sawabe K: Deciphering the Virome of Culex vishnui Subgroup Mosquitoes, the Major Vectors of Japanese Encephalitis, in Japan. Viruses 12(3): 264, 2020 . (IF: 3.811)
- 8 . Kapwata T, Mathee A, Sweijd N, Minakawa N, Mogotsi M, Kunene Z, Wright CY: Spatial assessment of heavy metals contamination in household garden soils in rural Limpopo Province, South Africa. Environ Geochem Health : 2020 doi: 10.1007/s10653-020-00535-0. (IF: 3.25)

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
2	0	0	1	1	2

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
皆川 昇・教授	幹事	日本衛生動物学会
皆川 昇・教授	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部
皆川 昇・教授	日本ICIPE協会委員	日本衛生動物学会
皆川 昇・教授	評議員	日本熱帯医学会
川田 均・准教授	支部長	日本衛生動物学会・南日本支部
川田 均・准教授	殺虫剤研究班委員長・編集委員	日本衛生動物学会
川田 均・准教授	理事・評議員・編集委員	日本環境動物昆虫学会
川田 均・准教授	Japanese Regional Director	The Asian Society for Vector Ecology and Mosquito Control
川田 均・准教授	誘引吸血装置法による防蚊試験方法に関する国際標準化分科会委員長	日本化学繊維協会
川田 均・准教授	誘引吸血装置法による試験方法に関する国際標準開発委員会委員	日本化学繊維協会

川田 均・准教授	ISO TC38/WG29 "Textiles-Anti-mosquito performance test method - Contact repellency test method using the attractive blood-feeding apparatus" convenor (国際標準化機構 第38技術委員会 第29作業部会 議長)	国際標準化機構 (ISO)
砂原俊彦・助教	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部
砂原俊彦・助教	編集委員	日本熱帯医学会
二見恭子・助教	日本ICIPE協会委員	日本衛生動物学会
二見恭子・助教	庶務委員・運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部

競争的研究資金獲得状況 (共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
皆川 昇・教授	AMED	分担	マラリアのない社会の持続を目指したコミュニティ主導型統合的戦略のための分野融合研究プロジェクト
皆川 昇・教授	AMED	分担	ベトナムにおける新興・再興感染症研究推進プロジェクト
皆川 昇・教授	独立行政法人科学技術振興機構	分担	科学研究費助成事業・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))：熱帯アフリカのマラリア撲滅に向けたアルテミシニンとイベルメクチンによる集団投薬
二見恭子・助教	独立行政法人科学技術振興機構	代表	科学研究費助成事業・学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)(一般))：熱帯熱マラリアのダイナミクス～多様性は媒介蚊の多様性によって維持される？
皆川 昇・教授 川田 均・准教授 砂原俊彦・助教 二見恭子・助教	共同研究・住友化学株式会社	代表	殺虫剤デリバリー技術の野外評価系および半野外評価系の構築
川田 均・准教授	共同研究・一般財団法人カケンテストセンター	代表	吸血昆虫の人工飼育方法の研究
川田 均・准教授	共同研究・アース製薬株式会社	代表	感染症媒介蚊の防除方法の検討
川田 均・准教授	共同研究・アース製薬株式会社	代表	忌避剤の蚊に及ぼす影響確認
川田 均・准教授	共同研究・ライオン株式会社	代表	衣類への防蚊性付与技術の開発
川田 均・准教授	共同研究・シャープ株式会社	代表	蚊の捕集効率の改善検証
皆川 昇・教授 川田 均・准教授 砂原俊彦・助教 二見恭子・助教 中澤秀介・客員研究員 鈴木高史・客員研究員 益田 岳・協力研究員 溜 宣子・協力研究員	住友化学株式会社		殺虫剤デリバリー技術の性能評価及び評価系の構築(164と179)
皆川 昇・教授	国立感染症研究所研究所		ベトナムにおける疾病媒介蚊の新規殺虫剤抵抗性変異高効率探索
二見恭子・助教	国立感染症研究所研究所		コガタアカイエカのウイルス叢と日本脳炎ウイルス媒介能に与える影響の関連解析
砂原俊彦・助教	金沢大学		ヒトスジシマカと近縁種の生殖干渉

その他

非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
皆川 昇・教授	非常勤講師(原虫寄生虫感染症コース)	大阪市立大学大学院医学研究科

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
砂原俊彦・助教	新型コロナウイルスは蚊を通じて感染するか	毎日新聞	2020年5月12日	「蚊によって感染することを示す情報や科学的根拠はない」とのWHOの発表を受け、蚊によって媒介されるウイルスを解説することで正しい防除法を紹介した。
砂原俊彦・助教	新型コロナウイルスは蚊を通じて感染するか	NBC長崎放送	2020年5月28日	「蚊によって感染することを示す情報や科学的根拠はない」とのWHOの発表を受け、蚊によって媒介されるウイルスを解説することで正しい防除法を紹介した。
砂原俊彦・助教	蚊の繁殖防止対策について	読売新聞(朝刊・夕刊)	2020年8月20日, 21日	佐賀市における蚊の駆除の取り組み「ブン蚊都市返上なるか」の関連で、国内で代表的なヤブカ、イエカの生態を解説するとともに身の回りで繁殖を防ぐための対策を紹介した。
皆川 昇・教授	SATREPS「気候予想モデルを基にした感染症流行の早期警戒システムの構築」と「プラネタリーヘルス」について	国際開発ジャーナル	2020年11月	環境と感染症という異なる領域を跨いで行われたSATREPS調査研究について南アフリカとの連携した活動内容や成果について解説するとともに「プラネタリーヘルス」を推進していく上での今後の課題について取材を受けた。